



3R活動の取組み事例発表

イオンモール株式会社

イオンモールKYOTO

2014年4月16日



イオンモール株式会社

1. 会社・施設概要
2. イオンモールの3R活動
3. 計量システムの運用
4. ごみの分別
5. リサイクル率
6. その他、法規制等への対応



1. 会社・施設概要



| | |
|-------------|---|
| 社名 | イオンモール株式会社 |
| 設立 | 1911年11月 |
| 事業概要 | 大規模地域開発及びショッピングモール開発と運営 不動産売買・賃貸・仲介 モール数 140店舗(海外含む) |

| | | | |
|--------------|--|-----------------|--------------------|
| モール名称 | イオンモールKYOTO | グランドオープン | 2010年 6月 4日 |
| 延床面積 | 14.8万㎡ | | |
| 店舗数 | 約130店舗 | | |
| 駐車台数 | 1,125台 | | |
| 営業時間 | 10時～21時 (スーパー9時～22時、飲食店10時～22時) | | |
| 従業員数 | 2,200人 | | |
| 来店客数 | 年間 約1,000万人 (2013年度) | | |

2. イオンモールの3R活動①

◆Reduce(リデュース)

廃棄物の排出量を店舗毎に把握し、それぞれでの減量を実施・把握できるようにする。

従業員教育による啓蒙を行う。

◆Reuse(リユース)

専門店の中では、納品にダンボールを利用せず使い回し可能なプラスチックケースを使用している店舗もある。

◆Recycle(リサイクル)

分別の徹底により、排出量の総量の約8割の廃棄物をリサイクルしている。

2. イオンモールの3R活動②

イオンモールではさらに

◇Refuse(リフューズ)

不要なものを断る

◇Repair(リペア)

修理して使う

5Rを推進！！



3. 計量システムの運用①

廃棄物の削減では「何を、どこで、どれだけ廃棄しているか」を明らかにし、課題として意識づけることが重要

=「見える化」による廃棄物削減

全国のイオンモールのうち、
49モールで計量システムを導入
(2013年度時点)

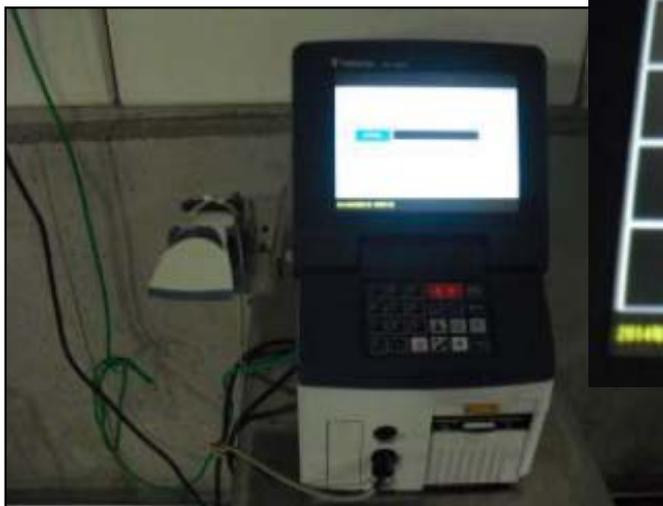
イオンモールKYOTOでも、
2013年10月に導入スタート



3. 計量システムの運用②

【運用の概要】

- ①店舗ごとに個別のバーコードを発行
- ②それぞれの店舗スタッフが廃棄の際、
分別品目ごとに計量を行う
- ③計量時に店舗名・重量・品目の書かれたシールがその場で
印刷されるので、それぞれの廃棄物に貼付
- ④店舗ごとの計量数値がデータとしてPCに保存される。



3. 計量システムの運用③

<計量システムの導入で苦労したこと>

◇各店舗スタッフが計量を行う

＝計量するための作業時間が増える(不満に繋がる)

◇約2,000名の従業員へ計量方法をどのように説明するか

<対 応>

◆導入の3ヶ月前から店長会等で告知

◆導入直前に計量方法についての教育を実施。

廃棄物の管理委託会社に5日間、いつ来ても対応できるように常駐していただいた。

4. ごみの分別①

イオンモールKYOTOでは、全ての廃棄物を21品目に分別しています。

◎廃棄物のリサイクルについて(全テナント共通)

| 大分類 | 対象となるもの | 出し方 | 置 場 | 置場での注意 | 分別・置場での注意 |
|------|--|---------|------|--------|--|
| 可燃ごみ | 紙くず・包装紙・紙容器・化粧紙・布切れ・カーボン紙・紙コップ・油紙・紙おむつ・汚れたビニール・木の枝・串 | 透明ビニール袋 | ゴミ庫 | | ・残飯・野菜・調理くずは出さない。 ・袋の口をしっかりとしめる。 ・リサイクルできる紙は入れない。 ・リサイクル不可のため、減量に努める。 |
| | タバコの吸殻 | 透明ビニール袋 | 吸殻入れ | | ・水につける。 |

◎廃棄物のリサイクルについて(飲食・食品テナントのみ対象)

| 大分類 | 対象となるもの | 出し方 | 置 場 | 置場での注意 | 分別・置場での注意 |
|-----------|---------------------------------|---------|-----|-------------|-------------------------------|
| ダンボール | ダンボール類 | | ゴミ庫 | 折りたたみ積み上げる | ・汚れたものは入れない。 |
| 古紙 | 新聞紙・ミスコピー紙・化粧箱・雑誌・梱包紙・ポスター類 | ダンボール | ゴミ庫 | 奥から順番に積み上げる | ・大量の場合は別途要相談。 |
| 発泡スチロール | 梱包材・トコ箱・りんご箱等の発砲スチロール・食品トレー | 透明ビニール袋 | ゴミ庫 | 専用カートに乗せる | ・ラベル・内、外乾燥させる。 |
| ビニールPPバンド | ビニール袋・ポリ袋・シート・PPバンド | 透明ビニール袋 | ゴミ庫 | 専用カートに乗せる | ・空気を抜く。 ・ビニール袋は口をしっかりとしめる。 |
| 廃プラスチック | 梱木鉢・プラスチック板・ビデオテープ・カセットテープ・ポリ容器 | 透明ビニール袋 | ゴミ庫 | 奥から順番に積み上げる | ・袋が破れないようにする。 |
| 金属くず | 金属類・フライパン・なべ等 | 透明ビニール袋 | ゴミ庫 | 奥から順番に積み上げる | ・袋が破れないようにする。 |
| もえないゴミ | ガラス製・陶器製 | 透明ビニール袋 | ゴミ庫 | 奥から順番に積み上げる | ・袋が破れないようにする。 |
| 蛍光灯 | 電球・蛍光灯・水銀灯等 | | ゴミ庫 | 奥から順番に積み上げる | ・割らぬように注意。 |
| 乾電池 | 乾電池 | 透明ビニール袋 | ゴミ庫 | 奥から順番に積み上げる | 他のゴミと混ぜない。 |
| その他缶 | 缶詰・菓子缶・管容器・調味料缶・スプレー缶・金属キャップ等 | 透明ビニール袋 | ゴミ庫 | 奥から順番に積み上げる | ・アルミ・スプレー缶は水洗い。 |

| 大分類 | 対象となるもの | 出し方 | 置 場 | 置場での注意 | 分別・置場での注意 |
|-----------|--|-----------------|------------|--------------------|--|
| 生ゴミ | 残飯・野菜くず・果物・パンくず・茶かす・豆腐・コーヒーかす・草・糖類・調理くず・おがくず・魚アラ | 透明ビニール袋をカートに入れる | ゴミ庫 | カートは所定の位置に止める | ・充分な水切り。 ・爪楊枝、ビニール類、割り箸、紙屑は入れない。 ・袋の口はしっかりとしめる。 ・リサイクルカートにて運搬。 |
| 割り箸 | 割り箸 | 透明ビニール袋 | ゴミ庫 | 奥から順番に積み上げる | ・充分な水切り。 ・洗って出す。 |
| 廃油 | 植物性食用油脂 | ペール缶 | ゴミ庫 | オイルタンクに移し替える | ・水や揚げカス、調理くず残飯、動物性食用油は混入させない。 ・揚げカスは水に浸した後、生ゴミとして排出。 ・下水には流さない。 ・運搬時、横転に注意。 |
| | 動物性食用油脂・ラード・植物硬化油・固形油 | 一斗缶 | ゴミ庫 | 所定の場所に置く | ・一斗缶で運ぶときは蓋をする。 |
| 牛乳パック | 牛乳パック・食料用パック | 透明ビニール袋 | ゴミ庫 | | ・水で洗い引き伸ばす。 ・紙パック内側のアルミ紙などのコーティング物は可燃ゴミで出す。 |
| ビン | 飲料ビン・調味料ビン・酒類ビン | 透明ビニール袋 | ゴミ庫 | 奥から順番に積み上げる | ・水洗いをし、中身の水は捨てる。 ・金属キャップは「その他缶」へ。 ・袋の口はしっかりとしめる。 |
| アルミ缶 | 飲料用アルミ缶(リサイクルマークの有るもの) | 透明ビニール袋 | ゴミ庫 | 奥から順番に積み上げる | ・水洗いをし、異物は取り除く。 ・ビニール袋に入れ、口をしっかりとしめる。 |
| スチール缶 | 飲料用スチール缶(リサイクルマークの有るもの) | 透明ビニール袋 | ゴミ庫 | 奥から順番に積み上げる | ・水洗いをし、異物は取り除く。 ・ビニール袋に入れ、口をしっかりとしめる。 |
| ペットボトル | 飲料ボトル・調理料ボトル(リサイクルマークの有るもの) | 透明ビニール袋 | ゴミ庫 | 奥から順番に積み上げる | ・水洗いをし、異物は取り除く。 ・ビニール袋に入れ、口をしっかりとしめる。 ・キャップとラベルを必ず外して「廃プラスチック」として捨てる。 |
| グリストラップ汚泥 | グリストラップの上澄み | ペール缶・透明ビニール袋 | リサイクルカート置場 | こぼさないように専用のペールに入れる | ・毎日、排水溝の上澄みをひしゃくですくう。 ・水分はその場で流す。 ・リサイクルカートにて運搬。 |

※その他 家電製品・什器・大型備品・分別できないもの

廃棄物管理員にご相談下さい。

4. ごみの分別②

【分別を徹底するための方法】

- 新しく採用されたスタッフに教育する場として、従業員研修(新規スタッフ研修)を開催。



◎ 廃棄物の排出方法と注意点

「分ければ資源、
混ぜればゴミ」です。

ルールを守れないテナントの廃棄物は
廃棄物処理室では受けとりませんので、
お持ち帰りいただきます。



リサイクルのポイント !

- 生ゴミは、透明ゴミ袋を使用し、指定のリサイクルカートで運搬すること。
- 廃食油はこぼれないよう、指定のペール缶で運搬し、専用タンクに移し替える。
- 事前に各店舗で分別したものを、ゴミ置場では分別作業はしない。
- ゴミは出せる時間が決まっています。決められた時間以外はゴミ置場へ持



4. ごみの分別③

【分別を徹底するための方法】

●館内のごみ箱が分別できるものとなっている。

※さらに、回収後も清掃員による分別を徹底



●計量データを基に、分別不徹底店舗を洗い出し

4. ごみの分別④

【分別を徹底するための方法】

● 分かりやすいごみ置場



● 廃棄物保管庫の管理スタッフ

による随時指導。

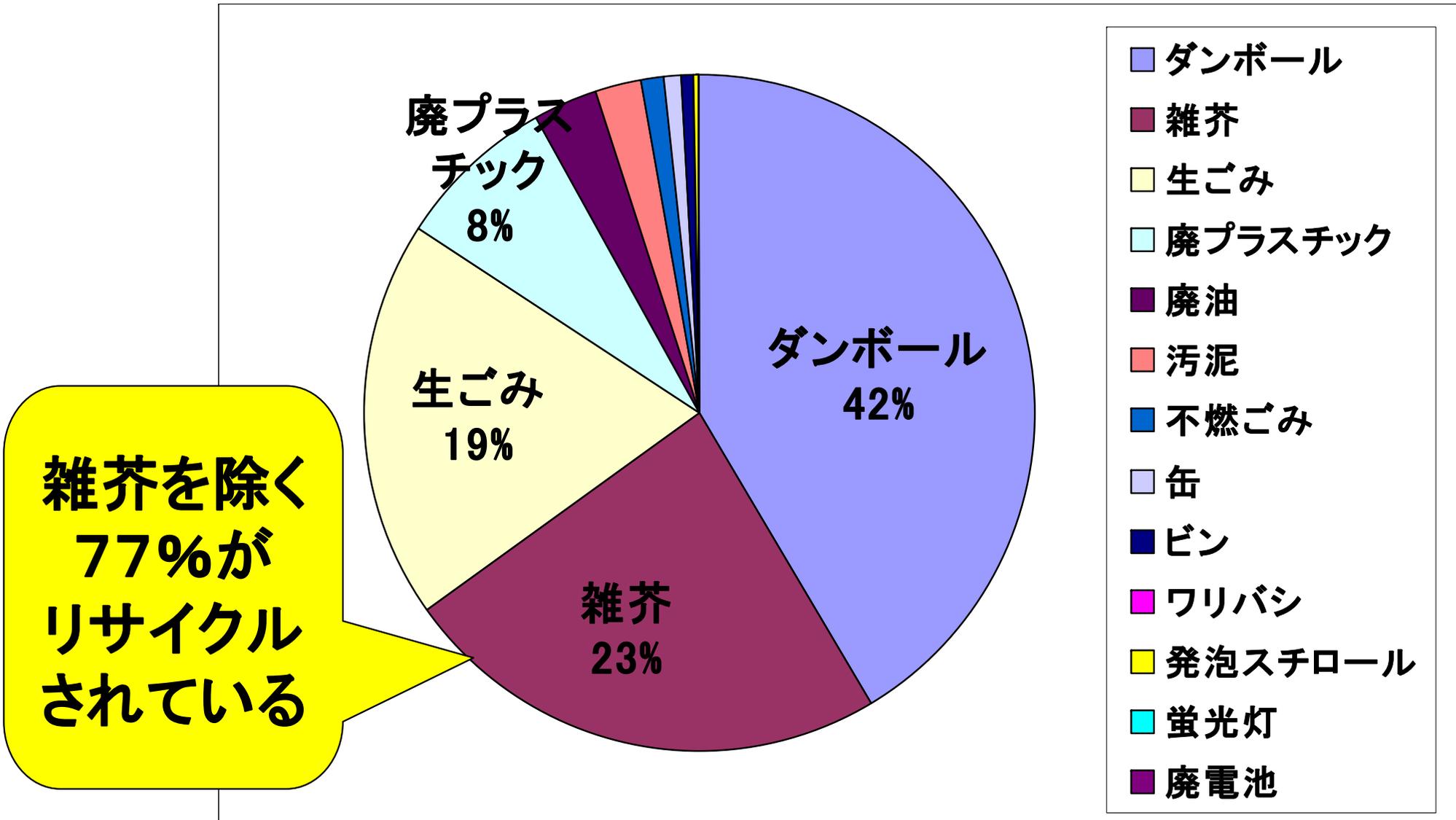
（分別できていないごみは受け取らない）



5. リサイクル率

イオンモールKYOTO

分別種類別の排出量(重量ベース・2013年度)



6. その他、法規制等への対応

イオンモールでは、法規制への対応や環境保護を推進するため、以下の取組みを行っております。

環境マネジメントシステム ISO14001認証取得



各種セミナーの受講・資格の取得

- ◇内部環境監査員養成セミナー(JACO)
- ◇環境準内部監査員セミナー(自社内セミナー)
- ◇eco検定(環境社会検定試験)(全社員取得予定)他

その他

- ◇環境内部監査の実施(年1回)
- ◇廃棄物処理場の現場視察(年1回以上)
- ◇省エネ活動(ソーラー発電・EVステーション設置等)

